

1. 日時 ○○○○年○月○日 第○限
2. クラス 第○学年○組
3. 単元名 選挙と政党
4. 本時の主題 選挙制度と現代民主政治のあり方
5. 本時の目標

選挙制度（選挙区制度）の背後にある，現代民主政治のあり方に対する考え方の相違について探求する。

〈到達目標（習得させたい知識）〉

- (1)小選挙区制はより望ましい政治を，①政局を堅実に運営できるよう安定した多数派を形成でき，また，民意が逆転した場合には確実に政権交代が行えるという，効率性が重要，②選挙での勝敗を明確にして政党間の競争を促すことで，よりよい政策が形成されるようにすることとする。

- ・小選挙区制とは，1つの選挙区から最も得票数の多い1名を選出する制度である。
- ・小選挙区制は，小さな得票の差（民意の差）を大きな議席の差とする制度であり，二大政党制を導きやすい反面，死票が多くなる。
- ・小選挙区制は，選挙で安定した多数派（「機能する多数派」）を形成し，政局の堅実な運営を可能にするために，わずかな差でも最も得票数の多い政党が圧倒的に多くの議席を獲得できるようにする。
- ・小選挙区制は，現在の与党が不適切なときに野党に転落させるという「政府を追放する機能」が重要視し，適切に政権交代が生じるようにするために，わずかな差でも得票差が逆転すれば議席が大きく逆転するようにする。
- ・小選挙区制は，政党間の競争によって，政党に常に自己改革させ，よりよい政策の形成を行わせるために，選挙に勝った政党と負けた政党がはっきりするようにする。

- (2)比例代表制はより望ましい政治を，①民意の差を忠実に議会での議席の差に反映させるといふ，公正さが重要，②少数意見も含めた多様な立場からの議論によって，よりよい結論を導き出すことができるようにすることとする。

- ・比例代表制とは，政党の得票数に比例して議席を配分する制度である。
- ・比例代表制は，得票の差（民意の差）をそのまま議席の差とする制度であり，死票がほとんどなく少数の意志が反映される反面，小党分立となりやすい。
- ・比例代表制は，「数に比例した代表」（民意に比例した議席数）こそが「民主主義の第一の原則」であり，公正であると考えているため，民意の差をそのまま議席の差に反映させる。
- ・比例代表制は，少数意見も含めて，多様な立場からの議論を議会で行い，その中からよりよい社会的意思を形成するのが議会制民主主義の本質であると考え，少数の意見も議会レベルまで残そうとするために，民意の差をそのまま議席の差とする。

6. 本時の評価規準

ア.「知識・技能」

選挙区制度の理念に関する資料を読み取り，必要な情報を的確に選択してその知識を身につけ，各選挙区制度の背後にある民主政治観に関する考え方を理解している。

イ.「思考・判断・表現」

各選挙区制度の背後にある理念の相違を考察し，資料を踏まえ公正に判断して，その結果を適切に表現している。

ウ.「主体的に学習に取り組む態度」

選挙区制度の理念について意欲的に探求し、各選挙区制度の背後にある民主政治観についてより誤りの少ない説明を導き出すことに主体的に取り組んでいる。

7. 準備物

教科書，資料集，ワークシート

8. 本時の学習展開

	発問	教授・学習活動	資料	学習内容
導入	<p>・現代の民主政治においては、国民はどのようにして国政に参加しているか。</p> <p>・選挙の仕組みを考える際にどのようなことが問題になるか。例えば、次の絵は何を示しているか。</p> <p>・ゲリマンダーとは何か。</p> <p>・ゲリマンダーによってどのようなことが可能となるか。</p> <p>・このことは何を意味しているか。</p> <p>◎選挙区制度の違いの背後には、どのような政治に対する考え方の違いがあるのだろうか。</p>	<p>T:発問する S:答える</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:課題提示</p>	①	<p>・議会制民主主義を採用している日本では、主に選挙で代表者を選ぶということにより国政に参加している。</p> <p>・19世紀初めにアメリカの州知事ゲリーがつくった選挙区。サラマンダー（ギリシア神話のとかげ）に似ていたため、ゲリマンダーと呼ばれる。</p> <p>・自分の政党に有利になるように選挙区の区割りを決めること。</p> <p>・区割りを操作することにより投票結果を操作することが可能となり、特定の政党・候補者を有利にすることができる。</p> <p>・選挙の仕組みしだいで、政治のあり方は変わってくる可能性がある。例えば、どのような選挙区制度を採用するかにより、どのような政治が行われるかが異なるかもしれない。</p>
展開1	<p>○日本ではどのような選挙区制度が採用されているか。</p> <p>・衆議院ではどのような選挙区制度が採用されているか。</p> <p>・参議院ではどのような選挙区制度が採用されているか。</p> <p>○なぜ2種類の異なる選挙制度同時に採用しているのか。例えばなぜ衆議院では小選挙区制と比例代表制を並立させているのか。</p>	<p>T:発問する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:考える</p>	②  ③	<p>・衆議院(定数 465 名)では 1994 年から小選挙区比例代表並立制が採用されている。</p> <p>・有権者は 2 票を投じ、小選挙区で 289 名、全国 11 ブロックの比例代表区で 176 名を選出する。</p> <p>・参議院(定数 248 名)では、3 年ごとに半数である 124 名を改選する(2019 年選挙～)。</p> <p>・都道府県単位の選挙区で 148 名、全国 1 区の比例代表区で 100 名を選出する。</p> <p>・小選挙区制と比例代表制とでは、望ましい代表の選び方についての考え方が異なっていると考えられる。</p>

	<p>○小選挙区制, 比例代表制とはどのような制度か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小選挙区制とはどのような制度か。</li> <li>・次のようなモデルを想定した場合, 選挙結果はどうなるか。</li> <li>・比例代表制とはどのような制度か。</li> </ul> <p>・次のような投票結果で6議席が与えられる場合, 議席はどのように配分されるか。</p> <p>○2つの選挙結果を図にまとめて比較しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小選挙区制の選挙結果にはどのような特徴がみられるか。</li> </ul> <p>・比例代表制の選挙結果にはどのような特徴がみられるか。</p> <p>○小選挙区制, 比例代表制とはそれぞれどのような代表の選び方をする制度か。</p>	<p>T:課題提示</p> <p>T:発問する S:答える</p> <p>T:発問する S:答える</p> <p>T:発問する S:答える</p> <p>T:発問する S:答える</p> <p>T:発問する S:比較する T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p>	<p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小選挙区制とは, 1つの選挙区から最も得票数の多い1名を選出する制度である。</li> <li>・各党の総得票数は, A党 22 票, B党 20 票, C党 12 票となる。</li> <li>・各党の獲得議席数は, A党 4 議席, B党 2 議席, C党 0 議席となる。</li> <li>・比例代表制とは, 政党の得票数に比例して議席を配分する制度である。</li> <li>・日本ではドント方式によって議席が配分される。</li> <li>・各党の獲得議席数は, A党 3 議席, B党 2 議席, C党 1 議席となる。</li> </ul> <p>・落選者に投票された票 (= 死票) が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A党・B党のような大政党に有利で, C党のような小政党には不利である。</li> <li>・A党とB党の得票差はわずかなのに, 議席差は大きくなっている。</li> <li>・小選挙区制は二大政党制を導きやすく, 政局が安定しやすい。</li> <li>・死票がほとんどない。</li> <li>・A党・B党・C党の得票差がほぼそのまま議席差に反映されている。</li> <li>・比例代表制は多党制を導きやすく, 小党分立となり政局が不安定になりやすい。</li> </ul> <p>○小選挙区制は, 小さな得票の差 (民意の差) を大きな議席の差とする制度であり, 二大政党制を導きやすい反面, 死票が多くなる。</p> <p>○比例代表制は, 得票の差 (民意の差) をそのまま議席の差とする制度であり, 死票がほとんどなく少数の意志が反映される反面, 小党分立となりやすい。</p>
展開 2	<p>○それぞれの選挙区制度の背後にはどのような考え方の違いがあるだろうか。</p> <p>○なぜ小選挙区制は小さな得票の差を大きな議席の差としようとするのか。</p>	<p>T:課題提示</p> <p>T:発問する S:考える</p>	⑥	(……)

<p>・小さな得票差を大きな議席の差とすることには、どのような意味があるのか。</p> <p>・なぜ、わずかな差でも、最も得票数の多い政党が圧倒的に多くの議席を獲得することができるようにするのか。</p> <p>・なぜ、わずかな差でも、得票差が逆転すれば議席が大きく逆転するようにするのか。</p> <p>・なぜ、選挙に勝った政党と負けた政党がはっきりさせるのか。</p> <p>○なぜ小選挙区制は小さな得票の差を大きな議席の差としようとするのか。</p> <p>○なぜ比例代表制は、小党分立となり政局が不安定になりやすいにもかかわらず、得票の差をそのまま議席の差に反映しようとするのか。</p> <p>・得票の差は何の差であるといえるか。</p> <p>・なぜ、民意の差をそのまま議席の差とするのか。</p> <p>・なぜ、「数に比例した代</p>	<p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する S:考える</p> <p>T:発問する S:答える T:発問する S:答える T:説明する</p> <p>T:発問する</p>	<p>・たとえわずかな差でも、最も得票数の多い政党が圧倒的に多くの議席を獲得することができる。</p> <p>・たとえわずかな差でも、得票差が逆転すれば議席の差は大きく逆転することになる。</p> <p>・民意の差はわずかであっても、議席の差で選挙に勝った政党と負けた政党がはっきりする。</p> <p>⑦ ・選挙で安定した多数派（「機能する多数派」）が形成され、政局の堅実な運営を可能にするために、最も得票数の多い政党がより多くの議席を獲得する必要がある。</p> <p>⑧ ・選挙においては、現在の与党が不適切なときに野党に転落させるという「政府を追放する機能」が重要であり、適切に政権交代が生じるようにする必要がある。</p> <p>⑨ ・選挙で明白な敗北を喫した政党内で、根本的な改革がなされ、よりよい政策の形成につながる。このような政党間の競争を促すために、選挙での勝敗を明確にする必要がある。</p> <p>⑩ ○選挙で勝利した政党に安定した多数派を形成させ、政局の堅実な運営を可能とする。もし、与党が不適切なときには、わずかな得票差でも確実に政権交代が可能となるようにする。このように選挙での勝敗を明確にすることで、政党間の競争を促し、政党の自己改革を導いてよりよい政策の形成ができる。そのため、小選挙区制では小さな得票差を大きな議席差としようとすると考えられる。 (……)</p> <p>・得票の差は民意の差であるといえる。</p> <p>⑩ ・「数に比例した代表」（民意に比例した議席数）こそが「民主主義の第一の原則」であり、公正であるといえるため、民意の差をそのまま議席の差に反映させる必要がある。</p> <p>⑪ ・少数意見も含めて、多様な立場からの</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	表」が「民主主義の第一の原則」なのか。  ○なぜ比例代表制は、小党分立となり政局が不安定になりやすいにもかかわらず、得票の差をそのまま議席の差に反映しようとするのか。	S:答える T:説明する  T:発問する S:答える T:説明する	議論を議会で行い、その中からよりよい社会的意思を形成するのが議会制民主主義の本質であるため、少数の意見を議会レベルまで残す必要がある。 ・政治は、バラバラな意見をまとめる集約の機能をどこかで果たす必要がある。小選挙区制の場合、意見の集約を選挙レベルで行うのに対し、比例代表制の場合は、意見の集約を議会のレベルで行う。 ○選挙での得票差は民意の差であり、これはそのまま議会での議席の差に反映させるのが公正である。バラバラな意見の集約の機能を、議会レベルで行うのが議会制民主主義の本質であり、少数意見も含めた多様な立場からの議論によって、よりよい結論を導き出すことができる。そのため、比例代表制では得票差をそのまま議席差に反映しようとすると考えられる。
終 結	◎小選挙区制、比例代表制の背後には、それぞれどのような政治に対する考え方の違いがあるのだろうか。  ○小選挙区制と比例代表制を並立させている衆議院の選挙制度はどのように考えられるか。	T:発問する S:考える S:答える T:説明する  T:発問する S:考える S:答える	◎小選挙区制はより望ましい政治を、 ①政局を堅実に運営できるよう安定した多数派を形成でき、また、民意が逆転した場合には確実に政権交代が行えるという、効率性が重要 ②選挙での勝敗を明確にして政党間の競争を促すことで、よりよい政策が形成されるようにすること としていると考えられる。 ◎比例代表制はより望ましい政治を、 ①民意の差を忠実に議会での議席の差に反映させるという、公正さが重要 ②少数意見も含めた多様な立場からの議論によって、よりよい結論を導き出すことができるようにすること としていると考えられる。 ○双方の理念を同時に実現しようとしているとも考えられるが、双方のよさを相殺しているとも考えられるのではないか。

## 9. 資料

- ①ゲリマンダー、②衆議院の選挙制度、③参議院の選挙制度、④小選挙区制のシミュレーション、⑤比例代表制のシミュレーション、⑥小選挙区制と比例代表制の比較、⑦バジヨットの小選挙区制論、⑧シュンペーターの小選挙区制論、⑨ポパーの小選挙区制論、⑩ミルの比例代表制論、⑪ケルゼンの比例代表制論

## 10. 板書事項・・・省略

## 11. 主要参考文献

加藤秀治郎『日本の選挙』中公新書、2003年 ほか